



令和5年度活動報告

箕輪町地域おこし協力隊
山野邊 智美



自己紹介

京都市出身、主に東京で20年近く広報関連の業務に従事。

結婚して子供を授かり、子育ては自然環境の豊かな場所で、と夫婦で合意し、移住の時期を息子の小学校入学のタイミングに設定し、たくさんの候補地を見学しました。

最終的に私が地域おこし協力隊に内定し、箕輪町に移住することができました。



なぜ箕輪町？

- 自然豊かな環境で子育てをしたかった
- 伊那谷の景色に一目ぼれ
- 自分の食べる野菜は自分で作れるようになりたかった
→交流菜園で実現
- 無駄な教育投資は避けたかった
→給食が美味しい！で十分
- ながたの湯他、長野県は温泉天国！



なぜ地域おこし協力隊？

- これまでの職歴が町のPR・ブランディングに活かそう
- いろんな場所で暮らした経験→町の良さを客観的に見つけられそう
- 起業に挑戦しやすい
- 仕事を通じて多くの出会いがあり、交流が深まりそう



卒隊後のビジョン

- 自宅を拠点とした民泊開業など「人を癒せる複合施設」の開業
- 具体的には：カフェ・マッサージ・託児施設など

協力隊として今年度の目標

①地域の特色、事業、商品等をPRしながら町の収益と価値を最大化する事業の検討と活動開始

→課題は？特産品は？隠れた魅力は？町の名所は？発掘しながら町の付加価値を向上させる方法を模索

②情報発信

→新聞、TV、WEB媒体、SNS（インスタグラム）etc…

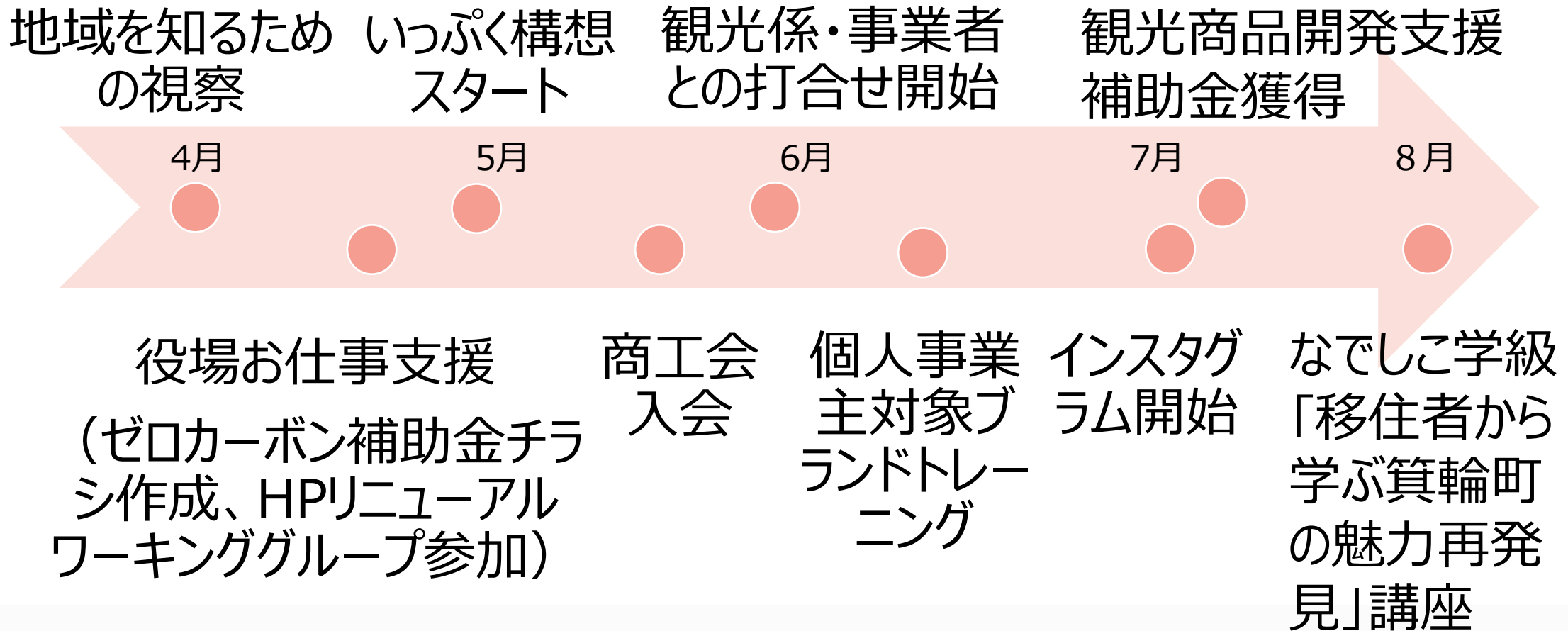
③ブランド関連講座の開催

→ビジネスだけでなく、魅力的な町づくりのためにも

④農ある暮らしで健康生活

→交流菜園で活動開始

上半期の主な活動



下半期の主な活動

食品衛生責任
者資格取得

9月



クラウドファン
ディングサイト
オープン+プ
レスリリース配
信

もみじ湖フェス
ティバル出展

10月



「いっぷく」
森とひと
初出展

もみじ湖紅葉
祭り出展

11月



クラウドファン
ディング返礼
品発送と精算

いっぷく精算業務

12月



KOJIMAYAと
文化祭に出
展

1月



アーティ
スト支
援開始

目標に対する結果

- ◆ ①地域の特色、事業、商品等をPRしながら町の収益と価値を最大化する事業の検討と活動開始
- ◆ ②情報発信
- ◆ ③ブランド関連講座の開催
- ◆ ④農ある暮らしで健康生活

→ **50点**：念願の和風茶屋「いっぷく」をもみじ湖紅葉祭りで出展が実現。メディア戦略も功を奏し、来場者大幅増。価値の最大化という目標において、文化的側面から貢献。イベントとしては120点。会場での直販、ふるさと納税への直接誘導が機能せず、収益大幅減。事業計画の見直しを要す。

→ **90点**：みのわ新聞、信濃毎日新聞、長野日報、伊那ケーブルテレビの担当記者と定期的にコミュニケーションを取り、メディアカバー率アップ。7月に開設したInstagramでも集客が出来るように。

→ **100点**：ブランドトレーナーの経験を活かし、2講座を実施

→ **100点満点!**：交流菜園で実現し、大玉スイカを2つ収穫し、大満足。野菜・果樹の摂取量が劇的増！来年度も継続へ。

現在の主な活動



1. 和風茶屋「いっぷく」：① + ②
2. アーティスト支援：① + ②
3. ブランドトレーナー：③
4. 農ある暮らしと農家民泊：④
5. その他（役場のお仕事支援）：②

活動紹介1

もみじ湖紅葉祭りで和風茶屋「いっぷく」出展



【箕輪町のブランド強化を目指して】

- ・クラウドファンディングと補助金を活用し
- ・地元陶芸家3組の作品で
- ・1万本のもみじを愛でながら
- ・KOJIMAYAの家具に腰掛け
- ・藤乃園の抹茶と菓子庵金星の上生菓子を味わう
- ・おもてなしスペースを開設

【きっかけ】

箕輪といえばもみじ湖紅葉祭り→京都では当たり前の景勝地で楽しむ野点。ここで実現したら観光客も地元の方も喜んでくれるはず。箕乃窯猪俣先生との出会いもあり、せっかくならみのわの作家さんの作品を展示販売する形式で実現できないか？と構想が膨らむ。

【陶芸との出会い】

茶器がたくさん必要になるため、陶芸講座に通うも、素人がうまく作れるはずもなく挫折。向山智充先生が企画を聞いて、仲間の陶芸家工房こまくさの花岡先生を紹介して下さる。→箕輪町にはプロの陶芸家がたくさんいることを発見！

【商工観光課観光係にまず相談】

競合としてではなく、仲間として受け入れられるために商工会への入会を勧められ、商工会員に。加入事業者からパートナー候補（菓子庵金星、お茶を販売する藤乃園、家具屋KOJIMAYA）を見つけて直接アプローチへ。

【協力事業者の獲得】

菓子庵金星の上生菓子と藤乃園の抹茶、箕乃窯と工房こまくさの茶器で紅葉祭りの野点企画に向けて進みだすも、「おもてなし」イベントとして実施が決定。急遽資金獲得のため、観光商品開発支援補助金200,000円獲得に向けて事業企画書を作成→無事獲得

【仲間の拡大とPR戦略の練り直し】

工房こまくさの紹介により那由多窯の小林揚子先生と出会う。参画が決定し、箕輪町の陶芸家と事業者を多くの方に知っていただくため、クラウドファンディングを利用し、情報発信媒体を拡大することに。自身でもInstagramでの情報発信開始。

【クラウドファンディングで追加資金を獲得】

利用者数590万人を有し、地域おこし協力隊の資金集めにも協力的な「CAMPFIRE」で実施。207,900円の支援金を獲得。支援者の多くは地元の方という衝撃の事実に感激を覚える。晴れてイベント開催決定となった。

KPI（重要業績評価指標）

・目標来場者数

- ◆ 10月28日→100人
- ◆ 10月29日→100人



・実際の来場者数

- ◆ 10月28日→**205人**+a
- ◆ 10月29日→**225人**+a

・町内協力事業者数

- ◆ 予定4→結果7

（菓子庵金星、藤乃園、KOJIMAYA、那由多窯、箕乃窯、工房こまくさ、ビストロなゆた）

* 関隊員はチラシデザインを担当

・当日稼働スタッフ数

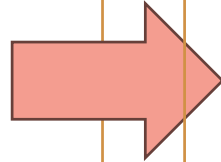
- ◆ 10月28日 予定5人→結果8人
- ◆ 10月29日 予定4人→結果7人

（山川隊員・妻みゆきさん、手塚隊員、相澤隊員、林さん、山野邊恒・葵）

メディアカバー

ターゲットメディア

- ◆ 信濃毎日新聞
- ◆ みのわ新聞
- ◆ 長野日報
- ◆ 伊那ケーブルテレビ
- ◆ もみじチャンネル
- ◆ SNS（インスタグラム、FB etc…）
- ◆ オンラインニュース系



掲載結果：20件以上

- ◆ ◎ 10月19日
- ◆ ◎ 10月12日、29日
- ◆ ◎ 10月24日、30日
- ◆ ◎ 10月3日イブニングニュース
- ◆ ◎ 9月第4週、10月第3週
- ◆ ◎ minowa_fan, tomo_nagano555他
- ◆ ○ 伊那谷ねっと、LINE NEWS、マピオンニュース
ストレートプレス、ガジェット通信他



鮮やかな紅葉を楽しみながら、お点前を堪能する観光客ら

「景色も人もすてき」
錦秋もみじ湖 呈茶でもてなし

箕輪のモミジの名所・箕輪ダム(もみじ湖)一帯で紅葉がほほほほと色づき、県内外の観光客で賑わいを見せた。会場では、抹茶と上生菓子を無料で振る舞う和風茶屋「いっぷく」が特設されたほか、紅葉シーズン中に常駐している町観光ボランティアガイドが、見どころなどを丁寧に紹介。手厚いもてなしに、「また来たい」「箕輪は景色も人もすてき」との声が上がるなど、観客の心をつかっていた。

いっぷくは、もみじ湖上流にある末広広場に28、29日限定で開催。和服姿の町地域おこし協力隊が流麗なもみじ湖をバックに、もてなした。地元陶芸家3組が制作した茶器を用い、来場者に喜ばれた。

箕輪のモミジの名所・箕輪ダム(もみじ湖)一帯で紅葉がほほほほと色づき、県内外の観光客で賑わいを見せた。会場では、抹茶と上生菓子を無料で振る舞う和風茶屋「いっぷく」が特設されたほか、紅葉シーズン中に常駐している町観光ボランティアガイドが、見どころなどを丁寧に紹介。手厚いもてなしに、「また来たい」「箕輪は景色も人もすてき」との声が上がるなど、観客の心をつかっていた。

入った器を使ってもらった。観光客は色鮮やかな紅葉をめでながら、お点前を堪能。箕輪の長閑な風景も楽しむ。紅葉を見ながら(6)では、11月18日(日)まで、町は交通渋滞緩和のため、規制と観光客を送迎するシャトルバスを運行する。駐車場は事前予約制。1台につき500円(早稲100円)を要する。

「紅葉祭り」に合わせ28、29日開催
地域おこしの
山野遊さん

CFで資金募る
1年目の山野遊さん

箕輪町地域おこし協力隊の山野遊さん(28)は、28(土)29(日)の両日、もみじ湖上流の末広広場に和風茶屋「いっぷく」を開く。町内の陶芸家4人の茶器で、町で採れた茶葉を無料で提供し、「もみじ湖紅葉祭」を盛り上げる。運営資金を募るため、CF(動画)を制作し、町内を回る。

「紅葉祭り」に合わせ28、29日開催
地域おこしの
山野遊さん

CFで資金募る
1年目の山野遊さん

箕輪町地域おこし協力隊の山野遊さん(28)は、28(土)29(日)の両日、もみじ湖上流の末広広場に和風茶屋「いっぷく」を開く。町内の陶芸家4人の茶器で、町で採れた茶葉を無料で提供し、「もみじ湖紅葉祭」を盛り上げる。運営資金を募るため、CF(動画)を制作し、町内を回る。

「紅葉祭り」に合わせ28、29日開催
地域おこしの
山野遊さん

CFで資金募る
1年目の山野遊さん

箕輪町地域おこし協力隊の山野遊さん(28)は、28(土)29(日)の両日、もみじ湖上流の末広広場に和風茶屋「いっぷく」を開く。町内の陶芸家4人の茶器で、町で採れた茶葉を無料で提供し、「もみじ湖紅葉祭」を盛り上げる。運営資金を募るため、CF(動画)を制作し、町内を回る。

「紅葉祭り」に合わせ28、29日開催
地域おこしの
山野遊さん

CFで資金募る
1年目の山野遊さん

箕輪町地域おこし協力隊の山野遊さん(28)は、28(土)29(日)の両日、もみじ湖上流の末広広場に和風茶屋「いっぷく」を開く。町内の陶芸家4人の茶器で、町で採れた茶葉を無料で提供し、「もみじ湖紅葉祭」を盛り上げる。運営資金を募るため、CF(動画)を制作し、町内を回る。

「紅葉祭り」に合わせ28、29日開催
地域おこしの
山野遊さん

CFで資金募る
1年目の山野遊さん

箕輪町地域おこし協力隊の山野遊さん(28)は、28(土)29(日)の両日、もみじ湖上流の末広広場に和風茶屋「いっぷく」を開く。町内の陶芸家4人の茶器で、町で採れた茶葉を無料で提供し、「もみじ湖紅葉祭」を盛り上げる。運営資金を募るため、CF(動画)を制作し、町内を回る。

「紅葉祭り」に合わせ28、29日開催
地域おこしの
山野遊さん

CFで資金募る
1年目の山野遊さん

箕輪町地域おこし協力隊の山野遊さん(28)は、28(土)29(日)の両日、もみじ湖上流の末広広場に和風茶屋「いっぷく」を開く。町内の陶芸家4人の茶器で、町で採れた茶葉を無料で提供し、「もみじ湖紅葉祭」を盛り上げる。運営資金を募るため、CF(動画)を制作し、町内を回る。

「紅葉祭り」に合わせ28、29日開催
地域おこしの
山野遊さん

CFで資金募る
1年目の山野遊さん

箕輪町地域おこし協力隊の山野遊さん(28)は、28(土)29(日)の両日、もみじ湖上流の末広広場に和風茶屋「いっぷく」を開く。町内の陶芸家4人の茶器で、町で採れた茶葉を無料で提供し、「もみじ湖紅葉祭」を盛り上げる。運営資金を募るため、CF(動画)を制作し、町内を回る。

「紅葉祭り」に合わせ28、29日開催
地域おこしの
山野遊さん

CFで資金募る
1年目の山野遊さん

箕輪町地域おこし協力隊の山野遊さん(28)は、28(土)29(日)の両日、もみじ湖上流の末広広場に和風茶屋「いっぷく」を開く。町内の陶芸家4人の茶器で、町で採れた茶葉を無料で提供し、「もみじ湖紅葉祭」を盛り上げる。運営資金を募るため、CF(動画)を制作し、町内を回る。

野だて体験 絶景もみじ湖で

箕輪 28、29日 和風茶屋「いっぷく」開設

CFで運営費募集

箕輪町の紅葉の名所・箕輪ダム(もみじ湖)の上流部にある末広広場に28、29の両日、野だて体験が無料でできる和風茶屋「いっぷく」がお目見えする。町地域おこし協力隊の山野遊智美さん(45)が、「1方本のモミジの絶景を楽しながら、くつろいでもらえれば」と企画。町内陶芸家の独創的な茶器を使い、地元産上生菓子と一緒に抹茶を振る舞う。多くの人が

をもてなせるようにと、イベント運営費を大手クラウドファンディング(CF)サイト「CAMPE IRE(キャンファイヤー)」で25日まで募っていた。

協力隊1年目の山野遊さんは京都府出身。神社仏閣や景勝地の野だてはなじみの光景だった。自身も20代から茶の湯に親しみ、茶道歴は約10年。子育てでしばらく遠のいていたが、今年4月に東京



当日の野だて体験で呈茶する山野遊さん

もみじ湖 茶屋で一服を



箕輪のモミジの名所・箕輪ダム(もみじ湖)一帯で紅葉がほほほほと色づき、県内外の観光客で賑わいを見せた。会場では、抹茶と上生菓子を無料で振る舞う和風茶屋「いっぷく」が特設されたほか、紅葉シーズン中に常駐している町観光ボランティアガイドが、見どころなどを丁寧に紹介。手厚いもてなしに、「また来たい」「箕輪は景色も人もすてき」との声が上がるなど、観客の心をつかっていた。

祭りに合わせて野だて計画

箕輪の協力隊員山野遊さん 28・29日開設

京都出身の山野遊さんは3月、豊かな自然を求めて家族で東京から移住。京都では神社仏閣の歴史の野だてが身近で、東京でも茶を嗜んでいた。伊那谷の自然に触れて暮らす中、紅葉で知られるもみじ湖について聞き、「紅葉祭りにお抹茶が飲みたい」との思いを強めた。地元の魅力を感じながら「二服」できる場を設けようとする春から構想し、協力者を募ってきた。

同日午前10時午後4時、ダム湖北側の末広広場に急遽集って茶屋を開く。来場者は町内の陶芸家3人の作品から気に入った茶器を選択し、たばきに合った紅葉を眺めながら、和菓子・菓子・金蓮の上生菓子、茶販売店「藤乃園」が厳選した抹茶を

から移住。約1方本のモミジが植わる全国屈指の紅葉の名所に「絶景の中で野だてをしたら最高の気分を味わえるはず」と茶の湯への思いがふつふつと沸き立ち、行動に移すことになった。隊員として町の魅力の発信などを使命にする。CFの立ち上げには「文化芸術が豊かな町、地元の優れた陶芸家を知ってもらいたい」との思いも込め

「和風茶屋」で紅葉祭り盛り上げ
地域おこしの山野遊さん

箕輪ダムもみじ湖上流の末広広場に28日、野だてを楽しむ和風茶屋「いっぷく」が開かれた。箕輪町地域おこし協力隊の山野遊智美さん(45)が「もみじ湖紅葉祭」を盛り上げ、町の魅力を発信しようとするクラウドファンディングなどを活用して企画し、行客客が色づくモミジの下で優雅なひとときを過ごした。

普段から茶道に親しむ山野遊さんが抹茶をたて、仲間協力隊員

4人やその家族が接客に協力。町内の陶芸家3組4人の独創的な茶器を14個そろえ、客に好きな器を選んでもらった。和菓子や茶、椅子や木製皿なども町内で仕入れ、オール箕輪の逸品でもてなした。

母親と一緒に訪れた木下真実さん(36)は「おこし協力隊の山野遊さん(45)が抹茶をたてながら、お話を聞かせてくれた。2年前に来たときにはなかったイベントなのでうれし

当日の野だて体験で呈茶する山野遊さん

「紅葉祭り」に合わせ28、29日開催
地域おこしの
山野遊さん

CFで資金募る
1年目の山野遊さん

箕輪町地域おこし協力隊の山野遊さん(28)は、28(土)29(日)の両日、もみじ湖上流の末広広場に和風茶屋「いっぷく」を開く。町内の陶芸家4人の茶器で、町で採れた茶葉を無料で提供し、「もみじ湖紅葉祭」を盛り上げる。運営資金を募るため、CF(動画)を制作し、町内を回る。

「紅葉祭り」に合わせ28、29日開催
地域おこしの
山野遊さん

CFで資金募る
1年目の山野遊さん

箕輪町地域おこし協力隊の山野遊さん(28)は、28(土)29(日)の両日、もみじ湖上流の末広広場に和風茶屋「いっぷく」を開く。町内の陶芸家4人の茶器で、町で採れた茶葉を無料で提供し、「もみじ湖紅葉祭」を盛り上げる。運営資金を募るため、CF(動画)を制作し、町内を回る。

「紅葉祭り」に合わせ28、29日開催
地域おこしの
山野遊さん

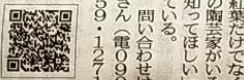
CFで資金募る
1年目の山野遊さん

箕輪町地域おこし協力隊の山野遊さん(28)は、28(土)29(日)の両日、もみじ湖上流の末広広場に和風茶屋「いっぷく」を開く。町内の陶芸家4人の茶器で、町で採れた茶葉を無料で提供し、「もみじ湖紅葉祭」を盛り上げる。運営資金を募るため、CF(動画)を制作し、町内を回る。

「紅葉祭り」に合わせ28、29日開催
地域おこしの
山野遊さん

CFで資金募る
1年目の山野遊さん

箕輪町地域おこし協力隊の山野遊さん(28)は、28(土)29(日)の両日、もみじ湖上流の末広広場に和風茶屋「いっぷく」を開く。町内の陶芸家4人の茶器で、町で採れた茶葉を無料で提供し、「もみじ湖紅葉祭」を盛り上げる。運営資金を募るため、CF(動画)を制作し、町内を回る。



CFのQRコード



ブログトップ 記事一覧 画像一覧

くまちなかタクシーが... 浦野邦衛副町長 2期...

★ 山野邊智美さんが和風茶屋「いっかく」を企画、クラウドファンディングに協力を。

2023-10-07 06:36:45
テーマ：できごと

プロフィール

白鳥まさのり
プロフィール | ブログの部屋



性別：男性
お住まいの地域：長野県
自己紹介：長野県箕輪町の「今」をお伝えします。我がふるさとの地域づくりを一緒に！続きを見る

HOME 伊那谷ねっと

ニュース検索

一覧表示

特集

- 2023県議会議員選挙
- 2023箕輪町議選・南箕輪村議選
- その他の特集

地域から選ぶ

- 上伊那広域
- その他広域
- 箕輪町
- 原野町
- 南箕輪村
- 伊那市
- 高遠地区
- 長谷地区
- 喜田村
- 駒ヶ根市
- 飯島町
- 中川村

ニュース

もみじ湖紅葉祭りで無料の野点体験会

2023年10月3日(火)

箕輪町の地域おこし協力隊、山野邊智美さんは、もみじ湖で行われるもみじ湖紅葉祭りで、野点体験ができる無料の休憩所を開きます。休憩所はもみじ湖の末広広場に設置されます。山野邊さんは京都府出身で、今年から地域おこし協力隊になりました。京都では外でお茶を楽しむ野点の文化が多くあり、その文化を箕輪の人や観光客に知ってもらおうと野点体験できる休憩所を企画しました。野点には町で作られたものが使われます。長椅子は、長岡に工房があるKOJIMAYAが作っています。



茶器は全て、箕輪町の陶芸家3人が制作したものが使われます。下古田に工房を構える猪俣 彬さんです。猪俣さんの作品は地元のお土を使って作られています。



地域おこし協力隊 活動日誌 vol.21

地域のために日々奮闘中！地域おこし協力隊の皆さんの活動を紹介します！

両サイドに山並みを望む箕輪町の風景は散歩をしているだけで癒やされます

もみじ湖での野だて体験で町の魅力をPR

箕輪町地域おこし協力隊 山野邊智美さん

DATA

- 【年齢】45歳
- 【着任月日】2023年4月
- 【出身地】京都府京都市
- 【前職】医薬品メーカーの広報担当
- 【趣味】旅行(特に温泉地のある国内が好き)

昨年10月箕輪町のほりとで開かれたもみじ湖紅葉祭りで、無料の休憩所「和風茶屋いっかく」を開設。野だてで来場者をもてなしました。箕輪町に小京都が現れて驚きましたと感想を寄せてくれたお客さまもいました。楽しんでもらえて良かったですと笑顔を見せます。

町の魅力を発信する活動に取り組んでいる山野邊さん。その拠点に選んだのが、紅葉の景勝地として注目度が高まるもみじ湖です。休憩所の開設に当たっては、町内の陶芸作家の茶器を使用。また、提供する和菓子や使用する家具を町内事業者から仕入れるなどして、町の良さを感じてもらえる内容にしました。「事前にもみじ湖の歴史を学んだのですが、ダム建設の際にここが愛される場所になってほしい」という願いを込め、地域の人がかみじを植樹したことを知り、暑い場所だと感じました。こうしたイベントを通して多くの人に、箕輪町の魅力を知ってもらえれば、今後は町内のさまざまな場所で、イベントの開催を構想中です。

町の交流菜園で家族で野菜作りに挑戦しました！

昨年は、町の交流菜園を借り、月に1回、農家さんの指導を受けながら畑づくりにも挑戦。作業は大変でしたが、大豊作だったんですよ！夏野菜は近所の人にもお裾分けでき、地域の人たちとも仲良くなることができました。

本格的な野だて体験にこだわりました！

お客さまをおもてなしするからには、本格的な野だてを体験してもらいたいとお草子にもお茶にもこだわりました。資金面では、クラウドファンディングを実施。「応援したい」と町内から協力してくれた方もいて、とてもありがたかったです。

The screenshot shows a crowdfunding page on the Campfire platform. The main title is "日本一の紅葉を誇る箕輪町紅葉祭り：地元作家の茶器でお抹茶体験スポット設営実現を！" (Japan's #1 autumn leaves, Mitsuwa Town Autumn Festival: Realizing the establishment of a matcha experience spot with local artist's tea ware!). The page features a large image of a tea ceremony spot surrounded by vibrant autumn foliage. The current funding amount is 207,900 yen, which is 41% of the 500,000 yen goal. There are 18 backers and the campaign is marked as "ended".

CAMPFIRE キーワード検索

プロジェクトを閲覧するには プロジェクトをさがす

🔔 通知 📧 連絡したプロジェクト

📍 Wonderful Minowaful Life 📍 まちづくり・地域活性化 📍 長野県

📺 動画の再生

紅葉とお茶とくつろぎと
「いっぴく」茶器を贈りながら
10/28~29に抹茶体験を目標としています！

📷 イメージ

📌 現在の支援総額
207,900円
100%
目標金額は500,000円

👤 支援者数
18人

🕒 募集終了まで残り
終了

業界大手のキャンプファイヤ社のクラウドファンディングを利用し、情報の拡散と支援金の獲得に努めた。

Instagram

ホーム

検索

発見

リール動画

メッセージ

♡

+

👤



「いっぷく」を開催まで、クラウドファンディング実施を含めた七転八倒記録を掲載。多くの方に応援頂いた。出展情報をInstagramで見て実際に足を運んでくださった方も。インフルエンサーにもイベント案内をしていただくことができ、広報ツールとして大きな役割を果たした。

tommy0705

プロフィールを編集

アーカイブを見る

広告ツール



投稿110件

フォロワー227人

フォロー中287人

Tomomi Y.

tommy0705

京都市出身。東京から伊那谷に2023年3月に移住。小1男児の子育て中&箕輪町地域おこし協力隊兼伊那経済新聞記者

「景色の美しい場所で抹茶を飲む」、という野望がもみじ湖紅葉祭りでやっと実現

- ・記者
- ・広報業務支援
- ・アーティストプロモーター
- ・イベントプランナー
- ・農ある暮らしは下手くそながら実践中

過去30日間に255件のアカウントにリーチしました。 [インサイトを見る](#)



収支報告

収入の部：458,747円

- ◆ 観光商品開発支援補助金200,000円
- ◆ クラウドファンディング 207,900円
- ◆ イベント出店売上 18,100円
- ◆ その他寄付金 32,747円

支出の部：650,483円

- ◆ 家具等備品代
- ◆ プレスリリース配信料
- ◆ 印刷費
- ◆ 茶菓代
- ◆ クラウドファンディング返礼品仕入れ費
- ◆ 手数料（クラウドファンディング）
- ◆ その他消耗品費

課題

1. 人手不足

- ◆ 当初の人員では殺到する来場者に対応できなかった。イベント当日、様子を見に来た山川隊員と妻みゆきさんが見るに見かねて急遽スタッフに。
- ◆ 翌日も引き続き応援を要請し、山川隊員には来客対応・誘導を、妻みゆきさんにはバックヤードでの仕事をお願いする結果に。
- ◆ 駐車場誘導員に配置したスタッフも早々に引き上げてもらい、急遽現場のイベントスタッフに。

2. 販売動線の脆弱さ

- ◆ 茶器、KOJIMAYAの折敷など触れてみて購入したくなったお客様に直接その場で販売が出来なかった。
- ◆ ショップカードやふるさと納税サイトをご案内するに留まってしまった。

3. ふるまい（無料）

- ◆ 来場者が殺到し、当初の予定より早く店じまいとなったことに加え、優雅な雰囲気はやや損なわれることに。

令和5年度いっぷく出展実績

9/30
森とひと

10/14
もみじ湖フェスティバル

11/11
KOJIMAYA

11/12
箕輪町文化祭



活動紹介 2

アーティスト支援（いっぷくを経て得たライフワーク）



Mission：生計を立てられない職業をゼロに！

Goal：アーティストが当たり前前に作品を作ることに没頭できる環境の実現を通じ、箕輪町を文化溢れる豊かな町に

「箕輪町を中心にアーティストおよびその作品のPR支援」を開始

（実績）那由多窯小林揚子作品（皿5点、カフェカップ1点：計6点24,000円分）を千曲市在住クラウドファンディング支援者に出張販売

活動紹介 3

ブランド関連講座の開催



【これまでの職務経験を活かして】

①6/20 起業を予定の方/個人事業主向け
「ブランドトレーニング」
参加者8人、メディアカバー1件（みのわ新聞）

②8/1 公民館講座なでしこ学級
「移住者から学ぶ箕輪町の魅力再発見」
参加者16名、メディアカバー2件（みのわ新聞、長野日報）

(第三種郵便物認可)

移住者目線で箕輪の魅力

町公民館で初企画講座で語り合う



箕輪町に移り住んだ人から、移住の決め手を聞くなど、町の魅力を再発見しようとする講座が1日、地域交流センターのわでであった。町公民館の生涯学習講座「なでしこ学級」に通う女性らが、自分たちで企画した初の試

町の魅力について語り合うなでしこ学級生たち

営。長年暮らしていると気が付きにくい町の魅力を、移住者目線から探ることにした。学級生で移住者でもある人が講師を務め、会を進行。それが移住したときの思いなどを語り、「自然が豊か。畑を借りて野菜作りを楽しんでいる」と口をそろえた。町に住んで4年目になる町地域おこし協力隊員の太田清美さんは、「いろいろな自然風景を楽しめ、今でも感動の連続です」と強調した。

学級生は四つのグループに分かれて、町の魅力を出し合った。スーパーなどの店がある、平均寿命は男女とも全国トップクラスとあって「健康的で住みよい点」を評価するグループも。キャッチフレーズづくりに挑み、「ひと暮らし、自然まわりのみわ」などが挙がっていた。小林節子さん(71)は「町には良い点がいっぱいあって、住みやすいところだと再確認できた」と話した。

(幸田英祥)

参加者コメント：「町には良い点がある、住みやすいところだと再確認できた」

2023年(令和5年) 8月9日(水) 第3種郵便物認可

町の魅力を再発見

町公民館でしこ学級

移住者視点で意見を交換
箕輪町公民館でしこ学級はこのほど、地域交流センターで「町内移住者から学ぶ箕輪町魅力再発見」講座を開いた。

学級生からの提案でテーマを決め、町地域おこし協力隊の太田清美さんと山野遊智美さん、町内に移住した渡辺美香さんが運営に当たった。町公民館の大学・学級の中でも、成人女性が対象の同級生は町外出身者が多く、それぞれの視点で町の魅力や将来の姿についてさくはらんに意見を交換した。

移住生年目になる太田さんは「箕輪の良いところは自然。車があれば不便が無く雪かきもちょっとした運動」

「町のおすすすめスポット」のパネルも展示した。参加者たちは「移住生ハンフレットをリニューアルするとし



箕輪の印象などを話す移住者ら

と町の印象を語った。「きたら」と「ほどほど」「ほどほどの田舎暮らし」という「し」という町のキャッチフレーズをブラッシュアップ」の2テーマで話し合いをした。

え、きめ細かな対応を「していく」と述べた。白鳥町長は「町内唯一の高校が、100周年の節目を迎える。地域で活躍できる人材の育成に向け、会も協力して教育環境の整備に努めていきたい」とあいさつした。

地域おこしの山野遊さん講座

箕輪町地域おこし協力隊の山野遊智美さんを講師に迎えた「ブランドトレニング」講座がこのほど、みななのわであった。起業を目指す人や事業を行っている人を対象に開催している講座の一場で、ブランディングの意味も在り方について意見を交わした。

民間企業でブランド開発に携わってきた山野遊さんは、ブランドとは「常に変化を促す」ジネスの資産「目に見えない確固たる評判」として、「社員や顧客に影響を与え、経済的な価値を生む」と説明。事業戦略とブランドが一体として位置づけられ、全社で取り



活発に意見を交わす参加者たち



みのわ町ガイドマップ

ブランドトレーニング：経緯

- 柴田隊員開催の個人事業主講座の中で、受講者それぞれの得意分野を講座の中で共有しようという提案があり、前職で経験のあった“ブランディング”を個人事業主向けにお伝えすることに。個人事業主が事業を展開するにあたり、「信頼」の蓄積が何より大事では、と結んだ。

移住者から学ぶ箕輪町の魅力再発見：経緯

- なでしこ学級では年度始めに学びたい講座を生徒が投票して選ぶ。箕輪町の魅力を改めて町民に感じてもらいたいと、講座を提案していたところ、「移住者から学ぶ箕輪町の魅力再発見」が選ばれ、移住者3人で講座を準備。長く暮らすと町の魅力に気づきにくくなるが、ひとたび移住者が感じた魅力を伝えると、目がキラキラと輝き、「人がよい」、「野菜や果樹が美味しい」、「利便性が良い」、「景色がキレイ」など次々と町の魅力があがってきた。お気に入りの場所を地図にシールを張って視覚化したり、“ほどほどの田舎暮らし”というキャッチフレーズをブラッシュアップするワークショップに参加者が盛り上がった。

活動紹介 4

農ある暮らしと農家民泊



【伝えたい！農ある暮らし】

将来的に上伊那で国際交流を活発化する活動に携わりたいと辰野町の姉妹都市ニュージーランドの学生を預かるホストファミリーに挑戦

→家族に新たなメンバーが加わることで自分たちの暮らしがより彩豊かに。都会の子どもたちや、海外の学生にも豊かな自然や、農ある暮らしを伝えたくなり、サポート体制の充実している伊那市観光協会農家民泊プログラムに登録

交流菜園での日々

夏：レタス、トマト、しし唐、ピーマン、きゅうり、なす、トウモロコシ、すいか、メロン

冬：ニンジン、大根、ほうれん草、小松菜、白菜

おいでなんしょ！



畑にニュージーランドからお客様

夏野菜、豊作！



ご近所さんにもおすそ分け

水やりは息子に



大好物はスイカ

農ある暮らし 1年後の感想

決して楽ではない

- ◆ 畝立て、マルチがけ、重労働！
- ◆ 腰はバキバキ！
- ◆ 日焼けで別人！
- ◆ 真夏の作業は命がけ！
- ◆ あらゆるところが泥だらけ！
- ◆ 時にはうまく育たないこともある

達成感と充足感

- ◆ 子どもを育てるような愛しい感覚
- ◆ 手間暇と愛情をかけた分だけ応えてくれる（気がする）
- ◆ 収穫時の喜びがすごい！
- ◆ 人間らしい暮らし
- ◆ 畑仕事の後の心地よい疲労感
- ◆ 余分にとれたらおすそ分け

鮮度最高！

- ◆ もいですぐに食べる野菜のみずみずしさに驚愕！
- ◆ 旬の作物で豊かな食卓に
- ◆ 調理しなくてもそのままでも食べれる（トマト、きゅうり、とうもろこし）

大玉スイカに息子も大喜び！収穫の時までハラハラしたけれど、やり抜きました。まだまだ学ぶことがたくさんでレベルは半人前以下です。来年度も学びます。交流菜園でお会いしましょう！

活動紹介（その他）

移住定住促進活動支援

「みのわ移住きょうしつ」への出席回数3回→参加人数のべ40人



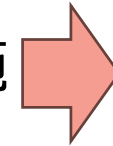
令和5年度 地域おこし協力隊関連 移住イベント実績

移住定住	開催日	実施方法	主催団体	参加イベント名	ターゲット	参加者数	備考
1	44661	オンライン	町 (太田隊員との共同開催)	第1回 みのわ移住きょうしつ	全世代	9	テーマ:やまほしく ゲスト:猪俣彬さん(上古田保育園)、柴田美咲さん(下古田保育園)
2	45075	オンライン	町 (太田隊員との共同開催)	第2回 みのわ移住きょうしつ	全世代	15	テーマ:移住のお金に関するあれこれ ゲスト:協力隊 小島隊員・太田隊員、羽生係員
3	45103	オンライン	町 (太田隊員との共同開催)	第3回 みのわ移住きょうしつ	働き世代	15	テーマ:仕事さがし ゲスト:中田武男さん
4	45134	オンライン	町 (太田隊員との共同開催)	第4回 みのわ移住きょうしつ	全世代	17	テーマ:農ある暮らし～家庭菜園を楽しむ～ ゲスト:渡邊実香さん、協力隊 関隊員
5	45167	オンライン	町 (太田隊員との共同開催)	第5回 みのわ移住きょうしつ	全世代	12	テーマ:車、病院、お店選びってどうしてる？ ゲスト:ルーカスさん、山野邊隊員、太田隊員
6	45195	オンライン	町 (太田隊員との共同開催)	第6回 みのわ移住きょうしつ	全世代	11	テーマ:移住して半年、箕輪町での暮らし&協力隊活動紹介 ゲスト:山野邊隊員、野口隊員、高橋隊員、太田隊員
7	45226	オンライン	町 (太田隊員との共同開催)	第7回 みのわ移住きょうしつ	全世代	8	テーマ:地区の紹介 ゲスト:ルーカス尚美さん
8	45258	オンライン	町 (太田隊員との共同開催)	第8回 みのわ移住きょうしつ	全世代	17	テーマ:地域おこし協力隊 ゲスト:山川隊員、山野邊隊員、まちづくり政策係:小松係員
9	45281	オンライン	町 (太田隊員との共同開催)	第9回 みのわ移住きょうしつ	全世代	12	テーマ:地域を知る、馴染む ゲスト:なし
10	45321	オンライン	町 (太田隊員との共同開催)	第10回 みのわ移住きょうしつ	全世代	12	テーマ:長野県の冬を知る～年末年始、伝統・食文化～ ゲスト:ルーカス尚美さん サブ:協力隊 太田隊員、羽生係員

卒隊後のビジョン

就任時

- ◆ 自宅を拠点とした民泊開業など「人を癒せる複合施設」の開業
- ◆ 具体的には：カフェ・マッサージ・託児施設など



現在（1年の活動を経て）

- ◆ みのわの逸品を集めた宿の開業
- ◆ 茶屋いっぷくで伊那谷のキープレイヤーと作戦会議
- ◆ 伊那谷を舞台に→地域プロジェクトマネージャー＊に挑戦
- ◆ 記者職に就く可能性も

変化の理由：自身の適性を再考することに加え、この地でやりたいこと、地域課題、地域が求めていることをすり合わせしている段階でもあり、流動的で変化もあった。2年目も活動を通じて複数の可能性を模索しながら出口戦略を柔軟に設定・実現していきたい。

（＊関係者間を橋渡ししつつプロジェクトをマネジメントするための「ブリッジ人材」とされ、市町村により任用される）

今年度活動内容の結果分析と考察

良かったこと

- ◆ 多くの支援者に出会えたことで、課題をクリアし、計画が実現できた。
- ◆ 目標を達成するまで粘り強く動き続けることができた。（調整はするが妥協はしない）
- ◆ 長期的なビジョンを意識して活動に落とし込むことが出来た。
- ◆ 自分の意見を臆せず発信できた。
- ◆ この地で忙しくも楽しく暮らせた。

課題として残ったこと

- ◆ 地域おこし協力隊としての立場でどこまで何が出来なのか？（半分公民・半分事業家）
- ◆ 目指したいのは補助金に頼らない自走式の事業モデルの確立
- ◆ 仕事の優先順位付け（体は一つしかなく、時間も有限の中、断る勇気も大事）
- ◆ 協業に向けた取り組み（伊那谷を活動舞台に取り組めるとより可能性が広がる）

来年度の抱負



・地域の特色、事業、商品等をPRしながら箕輪町のブランド力強化活動を継続→いっぷく第二弾企画は収益化＝持続可能性にこだわり継続へ

・拠点開発（一棟貸し宿、いっぷく、自宅）

・農ある暮らし→目指せ！家庭菜園付き物件購入

ありがとうございました。

地域おこし協力隊

山野邊 智美

inoda714@gmail.com



TOMMY0705

